

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科							
科目名	建築プレセミナー							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)							
担当者	津田和明(取りまとめ)、河上嘉人、依田浩敏、井原 徹、益田信也、小池 博、川上秀人、金子哲大							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定されたテーマについて、自主的に調査、整理、考察をして、その結果を文章、あるいは図面や作品などの形にまとめることができる。(A6) ・テーマに関する自分独自の意見を、文章や図、模型などを活用して、わかりやすく他人に説明することができる。(A6) ・テーマに関して討論し、他人と意見交換をすることができる。(A6) 							
日程と内容	2013/9/16 2013/9/23 2013/9/30 2013/10/7 2013/10/14 2013/10/21 2013/10/29 2013/11/2 2013/11/11 2013/11/18 2013/11/25 2013/12/2 2013/12/9 2013/12/16 2013/12/23	ゼミの内容や進め方は学生の自主性を尊重して学生と指導教員との話し合いで決定する。 3年次前期中に所属研究室を内定する。 後期の授業開始後は所属数研究室の教員の指導に従ってゼミを進める。 建築・デザイン学科の専門分野のプレセミナーは以下の通りである。					[建築計画分野] 井原研究室：建築計画 益田研究室：住宅計画 小池研究室：建築設計 [環境デザイン分野] 川上研究室：造形史 金子研究室：空間デザイン	
成績評価基準	定期試験	0%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	70%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	30%	計	100%				
授業到達目標の達成度	合格した者のうち、“優”および“良”がそれぞれ31名および21名で合わせて全体の約8割を占め、合格率も100%で目標は達成できたと考える。							
反省点	特に無い。 進級できない学生に対しては、履修登録を控えて他の科目を履修する指導を徹底したい。							
来年度の計画	基本的に今年度の運営方法を継承する。 共通事業として4年生の卒業研究の各種発表会を聴講させることは継続したい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価8.7点(昨年8.5点)で、ほとんどの設問に対し全科目の平均値を上回っている。 自由記述についても、指導教員との親密な関係の構築と高度な内容のものへの追求心が伺われ、少人数セミナーの効果が顕著に現れている。							
履修登録者数	65名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	65名	合格率	100%	